



今月のこよみ
 北方領土返還運動全国強調月間 1～29日
 省エネルギー月間 1～29日
 生活習慣病予防週間 1～7日
 北方領土の日 7日

発行 和歌山県知事公室 広報広輪課

県民の友

主な記事

- 2面 県議会だより
- 3面 拝啓 県民のみなさまへ
ふるさと建設費削減・県文化表彰
- 4面 すべての人々に文字を
- 5面 阿和朗新聞発音学習ビデオ お知らせ
- 6～7面 お知らせ/県議員の給与等の現状
- 8面 わびやま北南ニュース/ミレニアムイベント

〒640-8585 和歌山県小松原通1-1 ☎073(432)4111



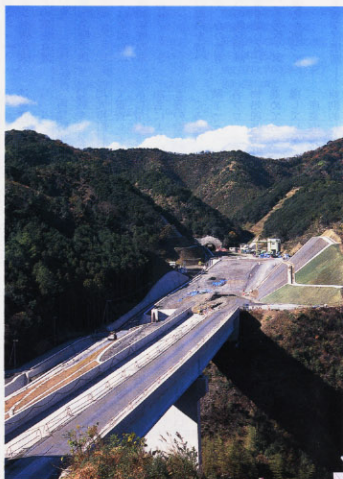
急ピッチで工事進む 紀伊半島の大動脈 近畿自動車道紀勢線

急速に自動車社会が進む今日、高速道路の整備は必要不可欠です。

現在、急ピッチで工事が進められている近畿自動車道紀勢線。山間部が大部分を占める和歌山県ではトンネル区間が多く、建設現場では昼夜連続して掘削作業が行われています。

私たちが、なにげなく通過する道路は、多くの人たちの協力でできています。

島田トンネル（印南町・南部町）



工事が進む近畿自動車道紀勢線（御坊～南部）

県議会だより 12月定例会の概要

平成11年度県一般会計補正予算
附属機関の設置等に関する条例の
一部を改正する条例、県振興局設
置条例の一部を改正する条例など
の案件を可決



知事選挙選挙権最初の開議会12月定例会は、12月1日から12月17日まで17日の間にはついでに開催され、平成15年度一般会計補正予算、附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例、県振興局設置条例の一部を改正する条例、動物の保護及び管理に関する条例、保護施設設置条例の一部を改正する条例、職員給与に関する条例の一部を改正する条例、県収用委員会設置委員の任命に関する人事案件など議案29件と知事専断処分報告1件が提案され、いずれも原案とおり可決、同意、承認されたとした。

また、総務審査中の平成15年度県営企業決算、平成15年度県営農産物出荷調整のいずれも承認された。

請願については1件が採択、1件が取下げ、3件は引き続き継続審査となりました。

このほか「聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書」「梅干し等の原料原産地表示を求める意見書」「青少年の健全育成に関する基本法の制定を求める意見書」が可決され、関係機関に送付されました。

質疑及び一般質問には、16人の議員が登壇し、県政各般にわたる諸問題について、活発な論議が展開されました。

主な質疑及び一般質問と、これに対する知事や関係当局の答弁の要旨は次のとおりです。(要約抜粋)

すべての人々に文字を

識字問題は社会全体の課題です

人間らしく生きるために

「識字」とは、日常生活での文字の読み書きができることです。そのことは、人間らしく生きるということ。部落差別や貧困などにより、教育を受ける機会を保障されなかった人々や日外国人など、読み書きが不自由なため、資格や運転免許がとれない、希望する職業に就けない、文化的な生活が送れない人々がいまいます。

文字の読み書きが不自由な人をなくすることは、読み書きができない人々だけの問題ではありません。私たちは、識字の問題をすべての人々が幸せな生活を送るための問題としてとらえ、読み書きが不自由な人をなくすことを自分の問題として、識字学校・教室等へ参加する人を支援したり、読み書きが不自由な人の学習する機会を保障するなど、人権を守る取り組みを進めることが大切です。

そして、かつての長期欠席・不就学などの問題が今日の識字問題を生みだしたことを踏まえ、新たな非識字者を社会的につくらない取り組みが求められています。

国際識字年を契機に

国連総会が、1990年(平成2年)を「国際識字年」と決議して以来、ユネスコが中心となつて、「すべての人々に文字を」のスローガンのもと、読み書きが不自由な人をなくすための取り組みを進めています。

県においても「国際識字年」を契機に、「識字問題にかかわる歌山県長期行動計画」を策定し、識字問題の啓発や識字教育の推進などに積極的に取り組んでいます。

識字問題を考える県民の集い



識字問題についての啓発用ビデオ・映画を県立図書館文化情報センターでご覧いただけます。貸し出しについてはお問い合わせください。

問合せ先
県立図書館文化情報センター ☎073 (436) 9530
県庁社会教育課 ☎073 (441) 3725

ビデオ		
・文字と生活 (平成6年 和歌山県)	20分	
・文字は生きる力 (平成3年 和歌山県)	20分	
・すべての人に文字を (平成2年 和歌山県)	20分	
・しあわせを求めて (平成元年 和歌山県)	20分	
・私の歩んだ道 (昭和56年 和歌山県)	20分	
映画		
・しきききょうしつ (平成7年 大阪府)	54分	
・へんてこなボランティア (平成6年 北九州市)	46分	
・おばあちゃんの道画 (平成5年 大阪府)	55分	
・ここの味 (平成2年 大阪府)	54分	
・竹の子のうた (平成2年 大阪府)	54分	
・星空のハイスクール (平成2年 大阪府)	54分	
・雨の雫もじ (平成元年 大阪府)	54分	

識字学校のような番組を番組を放映します。

テレビ和歌山「はばたく紀の国」

3月4日(土) 18:00~18:20

3月11日(土) 18:00~18:20 (再放送)

今年、「長期行動計画」の10年目になります。この間、理解を深めるための「識字問題を考える県民の集い」を開催したり、識字学校に学ぶ人々や指導者が交流する「よみかき交流会」などを実施してきています。また、行政関係職員などの研修をとおして、窓口業務の改善に取り組んでいます。

識字学校が大きな役割を

文字の読み書きの習得には、識字学校が大きな役割を果たしています。現在、県内6市町で約30人が参加し、熱心な指導者のもと懸命に学習されています。しかし、識字学校に参加できない人が、なおたくさんいます。「文字を知らない」とは恥ずかしい。しかし、知らないというのを知られることはもっと恥ずかしい」との言葉の意味について、「一人ひとりが理解することが大切です。そして、読み書きが不自由であることは、本人の責任ではなく差別や貧困などの社会的理由によってあることを理解し、識字問題の解決に向けて取り組んでいくことが重要です。」

識字学校で学ぶ皆さんの声

- 私は文字に自信がなく、長い時間悩んでいました。それだけにうれしく思っています。40才の書きならこくく、70才の手書きはほとんどにもらないでいうが、がんばってやるつもりです。
- 初めは何も分らない、恥ずかしいけど勉強しましたが、先生方のやさしい温かい心で勉強させていたれています。彈たにも「おばあちゃん」



さん、勉強しに行っているのよ」と言います。今5年生の孫が「おばあちゃん、僕もこれくらいならいけるよ」と見て勉強だとなら4年生の漢字ドリルなどいろいろ出してきてくれたりします。私は子どもの頃でなくなつた勉強、今こうして先生のおかげで勉強させていたことに、本当にありがたいです。

●私は識字学校へ参加して、もう5年になります。最初のころは、人の前へも話せず、胸がドキドキの中ではいろいろな話をしていても聞きません。だまづ舌の話を聞いて勉強していました。でも最近、人前にも話ずかしくなりました。

おかげで、今少しづつでも話ができるようになりました。私は、識字学校へ参加して、人前でも話ができるようになった。人前でも少しづつでも話ができること。まを勉強することが、友達の仲間づきなど人々とのふれあいが楽しいです。

●無学で、強生ききよ、いいかげん、勉強まで、おぼえることに、自信つき、私まで、私の人生、変わらなう。

※ 識字学校・教室生による活動、その一部始終等です。県立図書館文化情報センター、県庁社会教育課、識字学校・教室への参加方法など詳しくは、県教育委員会社会教育課 ☎073 (441) 3725 へお問い合わせください。

山越え、谷越え、どこへでも 動く観光図書館誕生!

県立図書館北分館の移動図書館「はまゆう号」が、社団法人日本観光協会から、「動く観光図書館」に選ばれ、約150冊の観光関連図書の寄贈を受けました。

現在、「はまゆう号」は、主として日高川以南の図書館未設置町村を中心に運行していますが、今月から寄贈されたガイドブックや会誌参考書、紀行文などで新たに「観光図書館コーナー」を設け巡回を始めています。

多くの方々のご利用をお待ちしています。
県立図書館北分館 ☎0739 (22) 2061



わかやま
北南
NEWS



県立図書館北分館 ☎0739 (22) 2061

催し

県植物公園庭花センター ☎0736(62)4029

盆栽の整枝と植え替え(松、梅等) 2月27日
庭木の健康管理 3月 5日
春らん展 3月11~12日
洋ランの育て方 3月12日

○お教室等は事前申込み必要

県立近代美術館 ☎073(436)8690

芸術と社会 2月15日~3月19日
美術館へ行こう4 2月29日~4月16日
ミュージアムトーク 3月4、18日

県民文化会館 ☎073(436)1331

管コンサート 3月11日

文化会館 ☎0739(25)3033

第15回紀南文化祭 3月12日

わかやま館 ☎073(448)0070

ドームシアター「遙かなる宇宙への夢」、「スリルライ」を上映中

会議室(有料)もご利用ください。

大洲公園万葉館 ☎073(446)5553

企画展「短歌・春・写真のハーモニー 紀伊万葉の故郷を歩む」記念講演会(無料・定員120人)
講師 永廣雅夫(短歌)、矢萩喜春(春)

○2月20日 13時30分~

○2月28日 2月8日から電話受付(月曜休館)

万葉館・アター新映像「紀伊国の万葉館」山部赤人との関わりと〜

里中満智子(漫画家)のオリジナルイラストも交えたわかりやすい内容です。

上映時間: 9時30分から60分

ごとに上映、最終16時30分

開館時間: 9~17時(月曜休館)

開館時間: 9~17時(月曜休館)

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月~金曜日(東牟婁郡美里川水曜日を除く)

場所 県庁交通安全相談所、東牟婁警察署

【弁護士による相談】●県庁交通安全相談所 2月

21日、3月6日 受付 13~14時 ●東牟婁警察署

2月18日、3月3日 受付 正午まで

【巡回相談】●伊都賀興典 2月23日 ●西牟婁

復興局 2月9日 受付 11~15時

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月~金曜日 場所 県庁県民相談室

【弁護士による相談】2月25日、3月10日

場所 県庁県民相談室 受付 9~11時

【移動相談】恵田区民会館(構内) 2月18日、

町民会館(中江路町) 3月2日 受付 13~15時

高齢者相談 ☎073(435)5212

場所 県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛隣)

【常設相談】月~金曜日

【弁護士による相談】2月18日 受付 12~13時

有古佐和子を探究する 和歌山を見つめた女流作家



有古佐和子(1907~1987)は、和歌山の土生土長な作家で、小説だけでなく、演劇、随筆、児童文学などさまざまな分野で活躍し、和歌山を題材にした作品が数多くある。代表作として、『和歌山のひびく』『和歌山のうた』『和歌山のこゝろ』などがある。代表作として、『和歌山のひびく』『和歌山のうた』『和歌山のこゝろ』などがある。

008 第3期

ミレニアムイベント 世紀越え読書家2000 燭と火の道・和歌山

太陽とロウソクなどの自然の光を使い、21世紀への希望や平和への感謝、祈りを和歌山から発信する、新しい時代(今の時代)にあふらしい、心で感じていただくイベントです。

日程・概要

3月3日(金)~5日(日) 高野山・大門~いにしへの火祭り~
大門をロウソク明かりで浮かべ上げられます。高野山宗務総長の特別記念講話や、声明朗読、参詣者コンサート、グルメラリーや守り本探検などの催しもあり、フィナーレには高野山に春を告げる高野の火まつりです。期間中は弘法大師が唐より持ち帰った黄金の数珠や高野山古刹園などの特別展示もあつきます。

3月17日(土)~19日(日) 熊野温泉~いにしへの火祭り・温泉祭~
癒しの香りが漂うなか、熊野温泉をロウソク明かりで浮かべ上げられます。村祭りや彩る御園の共演や龍のミニユメントづくり、温泉ライブなどがあつきます。期間中、温泉生まれの人や名前に龍が載る、炭のつ人には温泉入浴無料などの特典があつきます。

3月24日(土)~26日(日) 海岸・望楼の芝~希望の火祭り~
望楼の芝をロウソク明かりで浮かべ上げられます。アマチュアライブコンサートや、地元特産品などもあつるフリーマーケット、くしもと大橋を歩いてわたる本州最南端ウオークなどがあつきます。

参加者募集

下記イベントについては事前申込が必要で、申込方法などくしくは、お問合せください。

ミレニアム特別記念講話 高野山宗務総長 新居祐政

テーマ 「いのちのともし火」

日時 3月5日(日) 11:00~12:00(開場10:30)

場所 紀本山金剛寺 奥殿(普段は拝観できません)

参加費 無料(申込者は拝観も無料になります)

申込 2月18日

◎参加者には宗務総長直筆の記念品をプレゼント

本州最南端ウオーク

コース JR串本駅(集合)→大島〜くしもと大橋〜海岸・望楼の芝(ゴール)→JR串本駅(解散) 約10km(=はチャーターバス利用)

日時 3月26日(日) 集合9:30~11:15

参加費 無料(JR串本駅までの交通費は自己負担。チャーターバス料金として1,000円必要)

申込 3月15日

◎JR天王寺駅から臨時列車を運行(途中、JR日根野駅、JR和歌山駅に停車)

◎南海和歌山駅及びJR紀伊田辺駅からウオークの組織ツアーバスを運行

◎参加者には記念品をプレゼント。地元特産品の当たる抽選会もあります。

問合せ・資料請求先

(社)和歌山県観光連盟 ☎073(422)4631、FAX 073(432)8313、http://www.wakayama.go.jp/kankou.html

「アラジンとふしぎなランプ」

子どもに夢と希望を与え、親子で楽しめる名作劇場を開催!

●日時 3月5日(日) 14:00開演(入場料無料)
●場所 県民文化会館大ホール
●整理解説 県庁生活文化総務課、県民文化会館(往復ハガキで申し込む場合は、必要枚数を記入の上、ご家族1枚で生活文化総務課まで)
●問合せ先 県庁生活文化総務課 ☎073(441)2052



入場無料 第8回暴力団追放県民・市民大会

1部=大会、2部=講演「暴力団にノーと言う勇気を」、県民音楽演奏、特別ゲスト(木村公たまで・ひびき)

日時 2月23日(木) 13:30~ 場所 県民文化会館(和歌山市)

問合せ先 (財)県暴力団追放県民センター

☎073(422)8930



熊野学シンポジウムVI

全国初の本格的な地域学・熊野学
の確立をめざして、第6回熊野学
シンポジウムを開催します。

日時 2月26日(土)「大熊野」

会場 熊野学シンポジウム実行委員会

定員 20名(先着順)

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会

講演 熊野学シンポジウム実行委員会